

いわき市感染症発生動向調査

令和7年第24週(6月9日～6月15日)

○警報

【警報】伝染性紅斑

※警報・注意報の基準については、市ホームページ内「医療機関のみなさまへ」をご覧ください。

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数		増減の傾向 (過去2週間との比較)
		今週	前週	
1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.60	3.80	増加
2	伝染性紅斑	5.80	8.40	減少
3	感染性胃腸炎	1.80	1.00	増加

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

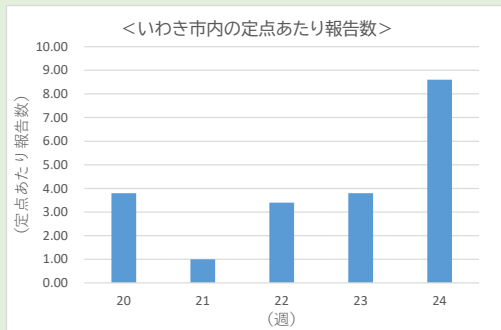
◆百日咳増加中!!◆

県内では、令和7年第24週(6/9～6/15)までの累計が、これまで最も報告の多かった平成31年(令和元年)1年間の報告数を上回りました。
市内でも今年の報告数が、調査開始以降最多となっておりますので注意が必要です。

⇒詳しくは、いわき市ホームページ【百日咳について】をご覧ください。
<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1747183846004/index.html>

【百日咳について】
ホームページ

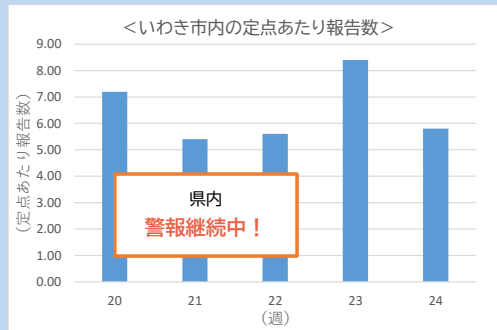
(1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



・県、市ともに直近3週連続で増加しています。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。乳幼児では咽頭炎、年長児や成人では扁桃炎がみられます。飛沫感染や接触感染が主な感染経路となりますので、手洗いやうがいなどの基本的な感染対策をお願いします。

(2) 伝染性紅斑(りんご病)



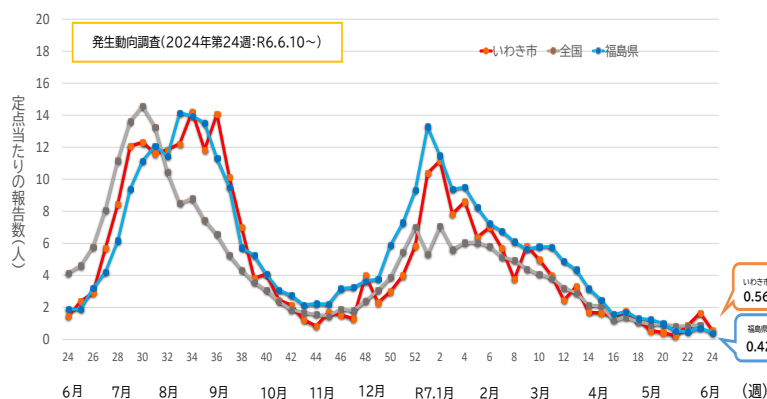
・全国では、過去5年と比べ報告数が多い状況が続いており、県内では第20週で過去最多を更新しています。

・妊娠中または妊娠の可能性のある方が感染すると胎児に影響を及ぼす恐れもあることから、人混みを避け、こまめな手洗い、マスクの着用等の感染対策を心がけましょう。

【伝染性紅斑(りんご病)について】
ホームページ

○新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症に係る定点医療機関当たりの報告数の推移



5類移行後も新型コロナウイルスの感染力や病原性は変わっていません。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、引き続き感染予防対策を心がけましょう。

担当:いわき市保健所感染症対策課 感染症対策係 TEL:27-8606